



RYOWA REPORT

株主通信 *vol.14*

第58期業績のご報告

平成18年4月1日～平成19年3月31日

空気と水のテクノロジー

株式
会社 **テクノ菱和**

● 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私は本年4月に代表取締役社長に就任いたしました阿部捷司でございます。今後、一層の社業の発展に尽力する所存でありますので、何卒ご支援、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

さて、テクノ菱和はこの度第58期(平成18年4月1日から平成19年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

景気は安定した回復基調を持続しておりますが、建設業界におきましては増加基調にある民間産業設備工事が同業者間の激しい価格競争にある上、公共建設工事もその発注量が長期通減傾向にあるため、厳しい受注環境が続いております。

中期事業計画の初年度である当期は、従来から得意とする産業設備工事やリニューアル工事に重点をおいた営業展開を行うとともに、業務の合理化ならびに固定資産の有効活用を図り、経費の削減、受注および利益の確保に取り組んだ結果、売上高、利益とも計画を上回る実績をあげることができました。

今後につきましても、好調なクリーンルーム等の産業設備工事や拡大基調にあるリニューアル工事は当社が長年培った技術力を活かせる分野であるため、より一層の営業基盤の強化を図り、収益力の向上に取り組んでまいります。

また、私は社長就任にあたり「コンプライアンスの徹底」「安全と品質の確保」「利益の確保」を三位一体として掲げ、株主のみなさまの信頼に応えられる企業を目指すとともに、環境保全分野における新機軸の構築や企業の継続的発展のための人材育成など、経営体質の改善・強化に努めていく所存であります。

なお、当期の配当金につきましては、業績ならびに今後の事業展開を勘案し、期末配当金を9円50銭とし、年間で前期より50銭増配となる1株につき15円とさせていただきます。また、次期の業績見通しにつきましては、売上高600億円、経常利益18.7億円、当期純利益9.2億円を見込み、配当金につきましては、年間で当期より50銭の増配となる1株につき15円50銭を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月



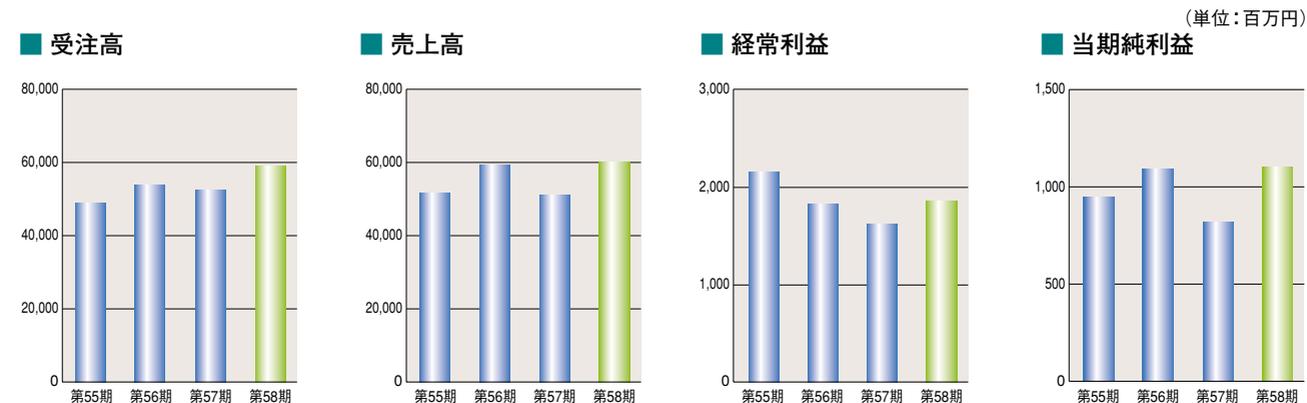
株式会社テクノ菱和
代表取締役社長

阿部捷司

● 業績の推移

主要な経営指標等の推移(単体)

	第55期 平成16年3月期	第56期 平成17年3月期	第57期 平成18年3月期	第58期 平成19年3月期
受注高 百万円	48,904	53,956	52,497	58,961
売上高 百万円	51,863	59,568	51,054	60,010
経常利益 百万円	2,165	1,833	1,627	1,859
当期純利益 百万円	955	1,098	821	1,103
純資産額 百万円	19,244	20,268	21,644	22,204
総資産額 百万円	43,406	43,649	45,209	50,941
自己資本比率 %	44.3	46.4	47.9	43.6
1株当たり純資産額 円	924.02	973.11	1,039.44	1,067.20
1株当たり当期純利益 円	45.19	51.87	38.68	53.06
1株当たり年間配当金 円	12.0	14.0	14.5	15.0



● 事業の概況 (セグメント別)

産業設備関連事業

当社は、半導体・医薬品製造など高度な最先端施設において、様々な環境技術を駆使し、お客様に信頼性の高いクリーンシステムを提供しております。

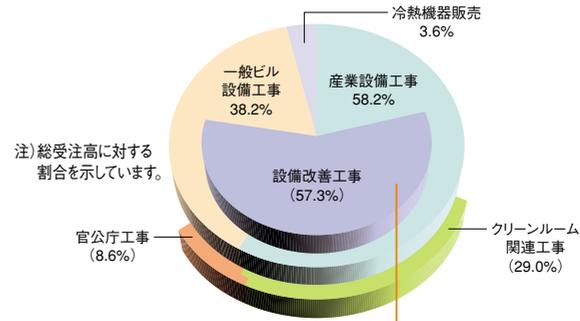
当期は、既存取引先との一層の関係強化を図るとともに、新規案件への積極的な営業展開が奏功し、特に医薬品製造、半導体関連施設の受注が順調に推移いたしました。今後も好調な企業業績を背景に設備投資の増加が見込まれるため、当セグメントでの更なる受注拡大に全力をあげて取り組んでいく所存であります。

一般ビル設備関連事業

オフィスビルなどの生活空間から、医療・介護施設での環境づくりまで、生活に密着した環境技術を通じ、ゆとりある都市空間の創造に貢献しております。

一般ビル設備工事においても当社の得意とするリニューアル工事の受注が伸張し、売上高とともに前年を上回る実績をあげました。しかしながら同業他社との競争が激しく、工事粗利益率は低下いたしました。今後も持続した成長を見込めるリニューアル工事分野での収益力を強化するため、更なるメンテナンス体制の充実を図ってまいります。

■ 当期受注高構成比



■ 設備改善工事について

『リフォーム・リニューアル』をキーワードに、設備改善やメンテナンス工事を中心とした業務分野です。

施設の完成引渡し後もシステムが効率よく正常に稼動するためには定期的な保守管理が欠かせません。当社は施設の引渡し後もお客様の施設を手厚くサポートするため、全国に広がる営業拠点に専門技術者を配置し、定期的なメンテナンスや設備改善の提案、施設の予防保全を行うなどきめ細やかなサービスに努めております。

TOPICS 大阪支店新社屋『日土地天満ビル』竣工

一昨年より当社大阪支店の老朽化にともない社屋建設事業を進めてきましたが、本年5月に大阪支店新社屋『日土地天満ビル』が竣工しました。

「環境に優しく快適なオフィスの創造」をコンセプトとして日本土地建物株式会社と計画を立案。事業用借地権方式による建替えを行い、当社が大阪支店社屋として一括賃借しています。当社屋はオール電化仕様、太陽光発電設備や壁面緑化などの省エネ技術を数多く採用し環境負荷の低減を図っています。また、来館されたお客様に当社技術をご覧いただけるよう、館内には当社開発製品を常設展示しています。

● **物件概要** 所在地：大阪市北区天満
構造：RC造8階建て
用途：事務所、駐車場
敷地面積：515m²
延床面積：2,918m²

● **展示品** 高機能設備管理システム (TECBEAMS®)
低温排熱利用省エネ型空調機 (ECOWET®)
静電気除去装置 (イオナイザー)
気流可視化シミュレーション・ソーラーチムニー (パネル展示)
太陽光発電電量表示ディスプレイ、壁面緑化



● 施工実績



株式会社島津製作所W3号館 (京都府京都市)



名古屋市中央卸売市場南部市場 (愛知県名古屋市)



沢井製薬株式会社 本社・研究所 (大阪府大阪市)



株式会社カナオカ埼玉第3工場 (埼玉県羽生市)



JA静岡厚生連 遠州病院 (静岡県浜松市)

● 財務諸表（連結）

連結貸借対照表の要旨

科目	前事業年度 (平成18年3月31日)	当事業年度 (平成19年3月31日)
資産の部		
流動資産	35,394	41,562
現金預金	8,381	7,737
受取手形・完成工事未収入金等	22,409	28,232
未成工事支出金等	3,724	4,322
その他	878	1,270
固定資産	11,858	11,756
有形固定資産	3,376	3,194
無形固定資産	291	273
投資その他の資産	8,189	8,288
資産合計	47,252	53,319

連結損益計算書の要旨

科目	前事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	当事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	54,203	63,093
売上原価	47,072	55,924
売上総利益	7,130	7,169
販売費及び一般管理費	5,638	5,393
営業利益	1,492	1,775
営業外損益	257	197
経常利益	1,749	1,972
特別損益	△19	234
税金等調整前当期純利益	1,730	2,207
法人税、住民税及び事業税	741	787
法人税等調整額	116	247
当期純利益	871	1,171

(単位：百万円)

科目	前事業年度 (平成18年3月31日)	当事業年度 (平成19年3月31日)
負債の部		
流動負債	22,747	28,351
支払手形・工事未払金等	19,644	25,414
未成工事受入金	1,287	836
その他	1,816	2,101
固定負債	1,913	1,759
負債合計	24,661	30,110
純資産の部		
株主資本	20,078	20,977
資本金	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498
利益剰余金	14,833	15,733
自己株式	△0	△1
評価・換算差額等	2,513	2,231
少数株主持分	—	—
純資産合計	22,591	23,208
負債純資産合計	47,252	53,319

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	当事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,751	△456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204	446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△344	△431
現金及び現金同等物の増減額	△3,300	△441
現金及び現金同等物期首残高	11,037	7,736
現金及び現金同等物期末残高	7,736	7,295

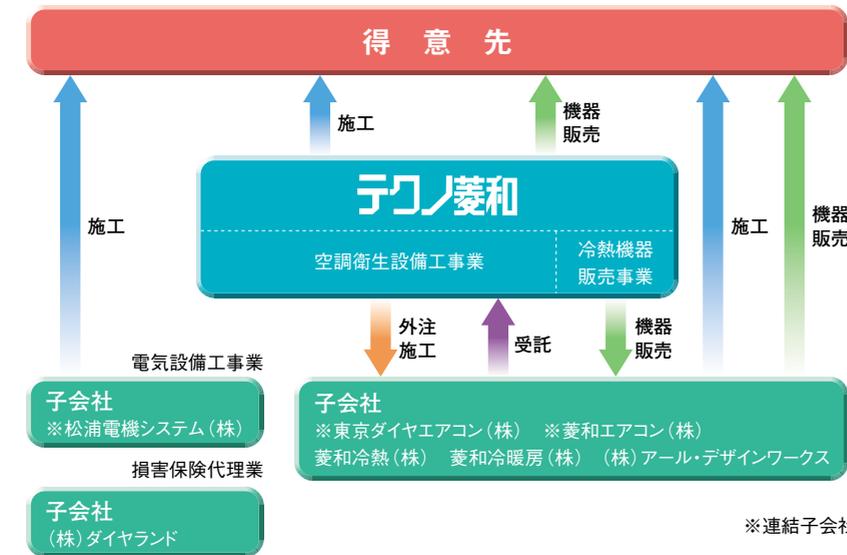
(注) 会社法施行に伴う新たな会計基準の適用により、連結貸借対照表における従来の「資本の部」の記載が「純資産の部」に変更されております。なお、前事業年度の「純資産の部」の数値につきましては、同「資本の部」の数値を組み替えて表示しております。

連結株主資本等変動計算書の要旨 当事業年度（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

(単位：百万円)

科目	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
前事業年度末残高	2,746	2,498	14,833	△0	20,078	2,118	394	2,513	22,591
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△312		△312				△312
取締役賞与金			△20		△20				△20
当期純利益			1,171		1,171				1,171
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金取崩額			60		60				60
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）						△220	△60	△281	△281
事業年度中の変動額合計	—	—	899	△0	898	△220	△60	△281	617
当事業年度末残高	2,746	2,498	15,733	△1	20,977	1,897	333	2,231	23,208

■ 企業集団の状況



■ 連結子会社

- 東京ダイヤエアコン(株)**
住所：東京都新宿区
資本金：30,000千円
主要な事業の内容：空調衛生設備工事業
- 菱和エアコン(株)**
住所：愛知県名古屋市
資本金：40,000千円
主要な事業の内容：空調衛生設備工事業
- 松浦電機システム(株)**
住所：大阪府守口市
資本金：20,000千円
主要な事業の内容：電気設備工事業

● 財務諸表（単体）

貸借対照表の要旨

科目	前事業年度 (平成18年3月31日)	当事業年度 (平成19年3月31日)
資産の部		
流動資産	33,340	39,127
現金預金	7,173	6,350
受取手形・完成工事未収入金等	21,763	27,374
未成工事支出金等	3,539	4,143
その他	863	1,258
固定資産	11,869	11,814
有形固定資産	3,229	3,052
無形固定資産	271	256
投資その他の資産	8,368	8,504
資産合計	45,209	50,941

損益計算書の要旨

科目	前事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	当事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	51,054	60,010
売上原価	44,520	53,405
売上総利益	6,534	6,605
販売費及び一般管理費	5,172	4,934
営業利益	1,361	1,670
営業外損益	266	188
経常利益	1,627	1,859
特別損益	△11	230
税引前当期純利益	1,615	2,089
法人税、住民税及び事業税	706	747
法人税等調整額	88	237
当期純利益	821	1,103

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (平成18年3月31日)	当事業年度 (平成19年3月31日)
負債の部		
流動負債	21,966	27,268
支払手形・工事未払金等	18,991	24,509
未成工事受入金	1,244	798
その他	1,730	1,959
固定負債	1,599	1,469
負債合計	23,565	28,737
純資産の部		
株主資本	19,142	19,977
資本金	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498
利益剰余金	13,897	14,733
自己株式	△0	△1
評価・換算差額等	2,501	2,226
純資産合計	21,644	22,204
負債純資産合計	45,209	50,941

(注)会社法施行に伴う新たな会計基準の適用により、貸借対照表における従来の「資本の部」の記載が「純資産の部」に変更されております。なお、前事業年度の「純資産の部」の数値につきましては、同「資本の部」の数値を組み替えて表示しております。

■ CLOSE UP ■

【売上高】および【売上総利益】

民間産業設備工事およびリニューアル工事での工事受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比8,956百万円(17.5%)増加いたしました。工事原価が高騰傾向にあり、価格競争により採算性の厳しい工事が多かったことから、売上総利益は前年同期と比べ微増となりました。

【販売費及び一般管理費】

企業年金運用の好転による退職給付費用の減少および経費削減努力により、前年同期比238百万円(4.6%)減少いたしました。

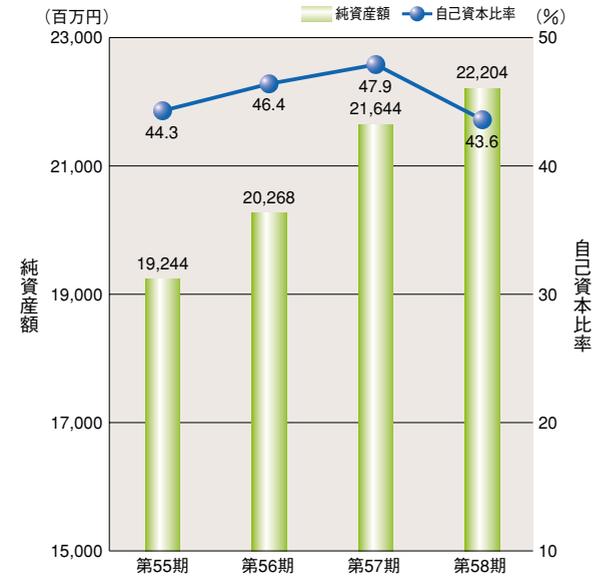
株主資本等変動計算書の要旨

当事業年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

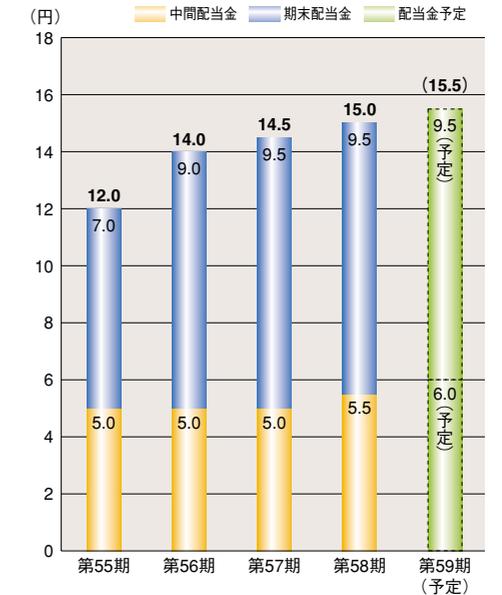
(単位:百万円)

科目	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金		評価・換算 差額等合計
前事業年度末残高	2,746	2,498	13,897	△0	19,142	2,107	394	2,501	21,644
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△312		△312				△312
取締役賞与金			△16		△16				△16
当期純利益			1,103		1,103				1,103
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金取崩額			60		60				60
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						△214	△60	△275	△275
事業年度中の変動額合計	—	—	835	△0	835	△214	△60	△275	560
当事業年度末残高	2,746	2,498	14,733	△1	19,977	1,892	333	2,226	22,204

■ 純資産額と自己資本比率の推移



■ 1株当たり配当金の推移



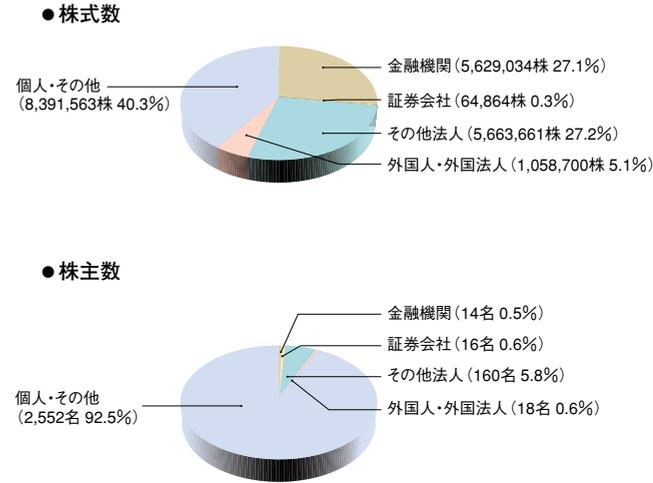
株式の状況

発行済株式の総数 20,807,822株
 当期末現在の株主総数 2,760名

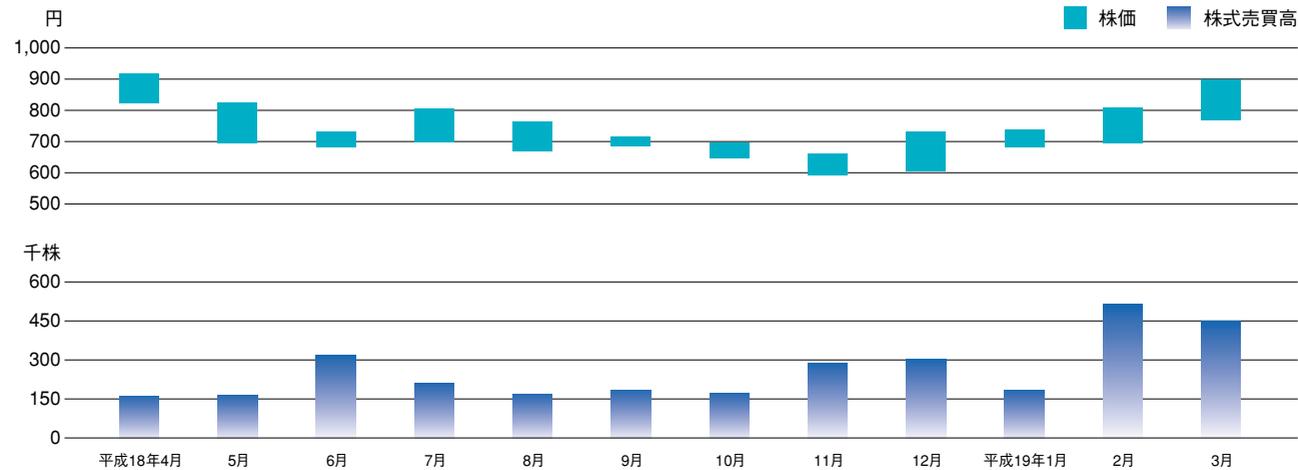
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱重工業株式会社	1,294	6.2
テクノ菱和取引先持株会	1,151	5.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,028	4.9
株式会社みずほ銀行	1,028	4.9
近重次郎	879	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	824	3.9
テクノ菱和従業員持株会	783	3.7
株式会社名古屋銀行	670	3.2
明治安田生命保険相互会社	667	3.2
野村ホールディングス株式会社	631	3.0

株式の分布状況



株価データ(株価の推移)



会社概要

会社概要 (平成19年3月末日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
 (英文名 TECHNO RYOWA LTD.)
 設立 昭和24年12月23日
 資本金 2,746,800,000円
 上場 東証市場二部
 従業員 640名
 本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
 (登記上の本店 東京都港区南青山2丁目3番6号)

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)
 東京本店(東京都豊島区)
 札幌支店(北海道札幌市)
 茨城支店(茨城県土浦市)
 東北支店(宮城県仙台市)
 千葉支店(千葉県千葉市)
 横浜支店(神奈川県横浜市)
 名古屋支店(愛知県名古屋市)
 静岡支店(静岡県静岡市)
 大阪支店(大阪府大阪市)
 中国支店(広島県広島市)
 九州支店(福岡県福岡市)

事業内容

産業設備関連事業
 クリーンシステム(塵埃・微生物除去)
 恒温・恒湿設備・低湿度設備
 省エネルギー・省資源設備
 スポット空調設備
 産業排水・排気処理設備
 冷凍・冷蔵設備・超低温設備
 クリーン流体処理プラント
 生産プロセス関連工事
 原子力関連設備

一般ビル設備関連事業
 一般空調調設備
 給排水衛生設備
 防災・消火設備
 排水処理設備
 地域冷暖房
 コージェネレーション設備

設備改善関連事業
 設備診断および設備リフォーム工事
 保守およびメンテナンス工事
 その他上記関連設備の運転管理および建築付帯設備などの設計施工ならびに関連機器類の製造、販売

建設業許可番号
 [特定建設業]
 管工事業
 建築工事業
 電気工事業
 機械器具設置工事業
 水道施設工事業
 国土交通大臣許可(特-16)第3101号

[一般建設業]
 消防施設工事業
 国土交通大臣許可(般-16)第3101号

一級建築士事務所
 東京都知事登録 第43570号

電気工事業
 経済産業大臣届出 第11020号

建築物環境衛生総合管理業
 東京都知事登録 17総第87号

一般労働者派遣事業
 厚生労働大臣許可 般13-090202

ISO9001認証取得
 ISO14001認証取得

役員 (平成19年6月28日現在)

代表取締役会長 林 昭八郎
 取締役副会長 近 重次郎
 代表取締役社長 阿 部 捷 司
 常務取締役 小 杉 道 夫
 常務取締役 黒 田 英 彦
 常務取締役 堂 垣 内 重 晴
 取締役 栗 山 一 成
 取締役 井 上 正 道
 取締役 杉 田 章 夫
 取締役 星 野 公 二
 取締役 小 森 光 男
 取締役 平 松 博
 取締役 井 尻 雅 之
 取締役 飯 田 亮 輔
 常勤監査役 酒 井 孝 司
 監査役 湊 博 志
 監査役 吉 田 達 法
 監査役 宮 本 光 平

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会については、3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株式名義書換	1.株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 2.事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (電話お問い合わせ・郵便物送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話0120-232-711(フリーダイヤル) 3.同 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 (お知らせ) 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用ください。
単元株式数	100株
単元未満株式の買取請求受付場所	上記株主名簿管理人あるいは証券会社等にてお取扱いします。
公告方法	日本経済新聞に掲載いたします。 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET(証券取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

株主ご優待制度のお知らせ

毎年3月31日現在当社株式を100株以上保有していただいている株主のみなさまに静岡の「特選茶」を贈呈いたします。

